

昭和52年 5月25日 第3種郵便物認可 令和3年2月10日発行 (毎月1回10日発行)



世界の円満
人類の福祉

THE ENPUKU

2月

2021

No.485



世界法民連帯 円福友の会

円福友の会入会のすすめ

1食1円のSABA運動で世界の平和に尽くしましょう。

SABAとは、禅寺の僧堂でお食事の前に、七粒ほどのご飯をお膳のすみに取っておき、後で小鳥に施す「生飯(さば)」というお作法のことです。

これを日本の皆さんの1食1円のSABAとして、アジアの貧しい国々の子ども達のために学校建築(教育)や、井戸やトイレの設置(環境衛生向上)を支援する、国際ボランティア資金の運動です。1食1円ならどなたにもできます。塵も積もれば山となるように、皆さんの御協力をお願いする大きな愛の運動です。(この運動は、特定の政党や宗教や思想に関係のない、非営利の国民運動です。)

綴じ込みの郵便振替用紙を使い年会費やSABA運動等の協力金をお送りください。お送りいただいた皆様には毎月『圓福』と『おもしろい』をお送りし、円福友の会の活動と円福寺愛育園の子どもたちの様子をご報告いたします。

表紙の写真

4本目の井戸を寄贈したチアソムオンさんの家族です。
サロン校長先生の息子さんが、協力して写真を送ってくれます。
井戸をもらって嬉しそうです。
井戸は6本掘りました。

2月号の内容

にこにこ法話 おまわり	1 p
カンボジア支援 設置井戸の状況 そして これから	3 p
途上国開発協力こぼれ話 ⑧合掌してお礼をする少年の話	9 p
敬愛信	14 p



円福寺愛育園では、創立以来七十三年間朝夕のおまいりを欠かしたことはありません。

愛育園には保育士

資格を取得するために、養成校から実習生が来ます。実習生には担当職員と私が事前指導をします。

私の事前指導は、愛育園の全般について

です。実習生の質問に答えるようにしています。あらかじめホームページを見て、愛育園を調べてきて欲しいと思います。質問もできないような受け身の姿勢では実習になりませんよね。

ここ二回ほど、おまいりについて聞かれました。おまいりは何のためにするのですか？

皆さんの家にお仏壇がありますかと聞

おまいり

き返します。ないのです。おばあちゃん（おじいちゃん）の家にあります、とい

います。お仏壇がなければおまいりはしません。おまいりの経験がないのです。それでは分かりませんね。

愛育園の子育てでは、おまいりをとつ

ても大切にしていきます。おまいりに子どもたちの心が表れま

す。私がこの仕事に入った十三年前のおまいりはひどかったです。年長児が起きてこない。出ない。出ている子はおまいりにならない。創立五十周年記念誌「愛の花園」に父は次のように書いています。（39p）

『おまいりのお経も、私が声を張り上げれば上げるほど、子どもたちの声は小さくなってしまふのです。朝の歌のオル

ニコニコ法話

ガンも全力で足を踏んでかき鳴らして歌うのですが子どもたちは黙っているのです。これは私だけではだめだと思ひ、指導員、保母を叱りつけると、園長さんが「おっしゃんに叱られると、職員も気が沈んでしまいます」と言うのですが、「私の心がわからんのか」といきり立ち、一人でがんばっていたところ、とうとうのどから血が出て、声が出なくなっていました。』

今のおまいりはどうでしょうか。おまいりに参加していただければわかります。きつと感動されると思います。令和三年のお正月の円福大黒天祈禱会は、コロナで帰省が許されなかったので、愛育園の子どもたち全員が参加しました。同席された皆さまは、子どもたちの揃った大きな声の般若心経に、すごいなあと感動されました。

おまいりがこのようにできる子どもたちだからこそ、皆勤で通学し、勉強に励み、毎日を自己の向上に努めているのです。

実習生には、おまいりは心を綺麗にしてくれます、と話しました。心を綺麗にするためにおまいりするのではなくて、おまいりをするのが心を綺麗にするのです。おまいりができる子どもたちになり、心がきれいになって毎日を過ごしている。そんな子どもたちを見ると、父が亡くなる一年ほど前に、ベッドの脇に私を呼んで「涅槃だ。後を頼む」と言ったことに、少しは応えているかなあと思います。

新しい一年を子どもたち全員が揃って迎えることができました。

おまいりをはがなばるこの子たちに幸いあれ

カンボジア支援

エコ村支援

設置井戸の状況 そして これから

キムさんがエコ村に入ってくれて、井戸の設置が進んでいます。昨年からは、六本でま

した。十本の井戸を寄贈する予定です。
この機会に、2013年から設置した井戸についてまとめ、これから設置する井戸の受領者と寄贈者（予定）についてお知らせします。



第4号井戸 TW 14-1
深井戸 土屋富沢家族寄贈



第18号井戸 CROW 16-4
コンクリートリング浅井戸
木村・斉藤氏寄贈

(看板例です)



第15号井戸 CROW 16-1
宮下商店（宮下繁明氏）寄贈

2019 状況

2011 年に設置された 3 つの浅井戸手押ポンプは、東京倶楽部からの資金でプレアピヒア日本協会（PVAJ:NPO）がカンボジア農村農業開発 NGO の CEDAC と組んで実行された。CEDAC の有機農業専門員が約半年間エコ村に駐在し、3 軒の農家を集中的に指導した。マオさんは村の元警察官。ドイソクさんは寡婦で子供はタケオの親戚に預け、ここでの収入を仕送りしている。この地区で最も熱心でチャレンジングな農婦で、学校農園でも堆肥や苗床造りの指導を熱心に行っている。2016 年学校農園開所式での円福賞受賞者。フォックさんはタイの大賀農場で 2 か月の有機農業研修を受けた 6 人のうちの 1 人で、PVAJ 管轄のエコ村 12ha パークの農場の管理も担当している。

円福友の会からのエコ村農家井戸支援第 1 号受益者です。家族一同が設置された井戸を囲んで大喜び、子供二人が水浴びで喜ぶ姿がその後の円福友の会による組織的な井戸設置支援の機となった。

水もトイレもないナチュラル小学校に、深井戸（深度 35 m）からの清浄な水とトイレが円福友の会の支援で設置された。井戸から出る水を囲んで校長先生と児童達の喜ぶ姿は「水あるところに仏あり」のスローガンの下に円福友の会のエコ村井戸支援が動き出した。この井戸は在学児童の飲水のみならず近隣住民に飲料水を供給し、朝には洗濯場となり、夕べには沐浴の場となっているのです。その後、井戸は増設され、学校農園の灌漑用水及びトイレ清掃などに使われています。

エコ村文化センター（バゴダ）の境内に数百本の植樹と共に設置された。

春日氏はナチュラル小学校農園整備と農機具などに多額の寄付をされた。その功績をたたえ、校長先生のサロンさんとソファットさんによって学校農園を春日農園と名付けたそうです。

ナチュラル小学校の二番目の井戸。農園と地域の人が使っている。この井戸は 2019 年前半に一度壊れたが、近くの市場で購入した部品と技能で修繕できた。その費用はソファット氏のポケットマネーで負担した。

エコ村支援 設置井戸の状況 そして これからの設置

年	型式	種類	場所、受益者	寄付者
2011	HP	浅井戸	Mr Mao Sarath マオ サラット	PVAJ ブレアビヒア日本協会
2011	HP	浅井戸	Ms Doy Sok ドイ ソク	PVAJ ブレアビヒア日本協会
2011	HP	浅井戸	Ms Phok Phanny フォック パニー	PVAJ ブレアビヒア日本協会
2013	TW13-1	深井戸	Ms Honh Nhor ホン ノル	円福友の会
2013	TW13-2	深井戸	Natural School No1 ナチュラル小学校第 1 号	円福友の会
2013	TW13-3	深井戸	PAGODA 地域のお寺	円福友の会
2014	TW14-1	深井戸	Ms Phoeurn Phoeurn ホエン ホエン	富沢 土屋 家族
2015	TW15-1	深井戸	Ms Mith Mamm ミト マム	上野 家族
2015	TW15-2	深井戸	Ms Vath Nith ヴァト ニト	東北大学 杜の会
2015	TW15-3	深井戸	Ms Ny Noeurn ニ ノエム	円福幼稚園
2015	TW15-4	深井戸	Ms Mei Sein メイ セイン	春日喜代子
2015	TW15-5	深井戸	Ms Sok Yun ソク ユン	櫻井商店 (櫻井榮二)
2015	TW15-6	深井戸	Ms Thy Ronn テイ ロン	円福友の会旅行者一同
2015	TW15-7	深井戸	Ms Phon Chhunny フォン チュニー	拓殖大学吉田ゼミ
2016	TW16-1	深井戸	Natural School No2 ナチュラル小学校第 2 号	宮田芳光

ナチュラル小学校の二番目の井戸。農園と地域の人が使っている。この井戸は2019年前半に一度壊れたが、近くの市場で購入した部品と技能で修繕できた。その費用はソファット氏のポケットマネーで負担した。
この井戸も当初浅井戸を計画したが、ソクラス氏の意向により深井戸になった。彼はこの地区で最も先進的で働き者の篤農家で、彼の農場は日本の農業試験場のように整然としています。彼は独自で試行錯誤して学んだ農法をナチュラル小学校で子どもたちに熱心に教えているのみならず、苗木などを無償で配布する利他行の実践者で円福友の会賞受賞者です。将来的にこの地区での農家の生産性が高まり、収穫量が大きくなると、近場の市場だけでは値段が急速に下がることになる。この問題の克服のために、農家が協同組合を作り、大きな都市（近隣都市）の市場で販売することを考える必要がでてくる。自発的に組合が生まれてくるのが理想です。
この浅井戸は、乾季には水位が下がり水不足になるので深い井戸を欲しがっている。この家族はオートバイとトレーラーを使って村の廃品回収業で稼いでいる。
ナチュラル小学校第3号井戸。岩本氏の看板を立てる予定である。この井戸は当初CROWを試みたが掘削壁が崩れて失敗した。よって深井戸にするか別の場所に設置することが必要である。
この家族は不在で、家屋がそのまま残っているので一時的かも知れない。近隣家族が井戸は使っている様であるが、移住してしまったら、看板は別の新しい井戸に建てる必要がある。
この家族は完全に移住したと考えられる。何故ならば家屋自体が無くなってしまった。しかし井戸は近隣で使われている。寄付者の看板は別の新しい井戸に設置したい。
この井戸は効果を発揮している。この家族はコメからお酒（泡盛）を造っている。生活は向上している。豚も飼っている。
メイセイさんの第2号井戸 彼女は地域で最も積極的な篤農家である。堆肥を作り、小さな養魚池を作り、多くの種類の野菜と果樹を栽培し、果樹の苗木造り、果樹加工など多彩な農業を実践している。CEDAC推薦の小規模統合的ホームガーデン農法の実践成功者である。市場とも提携して販売路を広げている。
この家族は穀物とハーブの生産を高めている。彼女はトラクターとトレーラーを持っている。17歳の娘は病気で円福友の会寄贈の車いすを使っている。茨城5人組の看板を立てる予定である。この農家はこの地区での有機ハーブ生産のモデル農園になる可能性があり、将来は延命長寿のブレアビビア茶のブランド開発の夢が広がる。
この家族は一時的に離農して季節労働者として町で働いているとみられる。もし井戸が近隣で使用されていなかったら、坂井氏の寄付銘板は新しい深井戸に建てるべきである。
コンクリートの輪でできた浅井戸

14本は深井戸で、CROW 16-1からの8本はコンクリートリングを使った浅井戸です。

2016	TW16-2	深井戸	Ms Noeurng Noeurn ノウン ノウン	柳澤和子
2016	TW16-3	深井戸	Mr Chen Sok Rath チェン ソク ラス	富沢 横田 尾崎
2016	CROW16-1	コンクリート リング浅井戸	Ms Yem Khen イエム ケン	宮下商店 (宮下繁明)
2016	CROW16-2	コンクリート リング浅井戸	Natural School No3 ナチュラル小学校第3号	円福友の会
2016	CROW16-3	コンクリート リング浅井戸	Ms Deub Sreymom ドゥブ スレイマム	滝澤明子
2016	CROW16-4	コンクリート リング浅井戸	Ms Toeurn Ny トエン ニ	齋藤 木村
2016	CROW16-5	コンクリート リング浅井戸	Ms Meas Oeurn メアス オエム	富沢孝
2016	CROW16-7	コンクリート リング浅井戸	Ms Mei Sein No2 メイセイン 第2号井戸	富沢 横田 尾崎
2016	CROW16-8	コンクリート リング浅井戸	Ms Dam Soeurn ダム ソエム	円福友の会
2016	CROW16-9	コンクリート リング浅井戸	Ms Sok Pisey ソク ピセイ	円福友の会
Note: HP=hand pump, TW=deep tube well (深井戸), CROW=concrete ring open well.				

2011 年の 3 本の井戸は、吉田顧問が所属していたブレアビシア日本協会が設置しました。
2013 年以降の 22 本の井戸は円福友の会が設置しました。そのうち、2016 年の TW 16-3 までの

今後の掘削予定

2020							年
型式	種類						場所、受益者
TW20-1	深井戸						ヴァケン
TW20-2	チャウン ラタナ						茨城5人組
TW20-3	チュアソムオン						坂井家族
TW20-4	ソテイ先生						柳澤明家族
TW20-5	ソン・トン						岩本家族
TW20-6	ヤン ロウ						鍋木豪 家族
TW20-7							豊田喜昭 家族
TW20-8							島田八重子
TW20-9							ソロブチミスト千曲
TW20-10							

これからキムさんが掘る10本の井戸はすべて深井戸です。40mも掘ります。岩盤が硬いので時に機械が壊れます。

看板は、キムさんがシエムリアップで10枚作成し、エコ村に持参して設置します。壊れ

ない方法で製作して設置します。

これまで井戸を寄贈されて、お名前がなかったり、間違えたりした失礼がありましたら、申し訳ありません。ご連絡ください。

大勢の皆さまに、エコ村を支援していただき地元民の力でエコ村が豊かになっていきます。

今後のエコ村支援予定

1. 寄贈した井戸の使用状況をキムさんに調べてもらいます。使えない井戸は修理します。
2. さらに井戸を寄贈します。
3. ナチュラル小学校に、本棚と本を寄贈します。（尾崎明子氏）
4. ナチュラル小学校の学校農園に草刈り機、農機具、種、苗、柵（動物が農園に入つて荒らします）、燃料等を寄贈します。

途上国開発協力こぼれ話

⑧合掌してお礼をする少年の話

円福友の会顧問 吉田恒昭

ラオス北西部のホエサイの町から直線距離で南東へ約200キロのラオスの古都ルアンブ
ラバンへ向かいました。飛行機は30席ほどある
のですが、床が機首に向かって傾いているのに
は驚きました。乗り込んだ乗客は母子連れの難
民家族が多くを占めていました。彼らの多くは
恐らく生まれて初めて飛行機というものに乗る
のでしょう。離陸するや否や子供たちは大声で
泣きわめき始めます。その傍らで両手を胸の前
に合わせて目をつむりひたすら祈る老若男女で
異様な光景となりました。私の心中も穏やかで
はありません。微妙な下り坂になっている滑走
路を全力で疾走で機体がガタガタと音をたてま
す。滑走路が舗装されていないのですから機体
が分解しそうになっても当然です。スピードが

増すにつれて、私が座った最後部の扉の近くで
は、なんとドアのすき間から風が吹き込んでく
るのです。私の体は恐怖感でこわばり始めてい
ました。離陸後に機体は直ぐに雲に入り、再び
激しく揺れ始め、あろうことか水滴が私の頭に
落ちてきました。気圧が急速に低下するからで
しょうか、耳は次第に詰まってきて何回も唾を
のみ込みました。鼻を摘まんで耳圧の調整を試
みるのですが無駄でした。次第に内耳に疼痛を
感じ始めました。窓から外を見ると写真①のよ
うに眼下にメコン河を眺めていて多少の余裕が
あったの
ですが、
そのうち
に機体は
低空に立
ち込める
雲と山肌
の間を曲
芸飛行の



①死んでしまうと思った機上から

ように飛ぶのです。従って眼下の熱帯雨林の木々はまるで激流の如く後方へ飛んで行くのです。私も周囲の老若男女の乗客と同じようにひたすら合掌するばかりでした。半時間もかからない飛行でしたが、ルアン普拉バン飛行場に無事着陸した時は九死に一生を得た心境でどつと疲れを感じました。地上に降り立って一息すると、内耳からの出血が喉に回り唾に血が混じってきました。命拾いしたことに感謝しつつ、大事に備えて抗生物質を飲みました。出血は数日間続き聴覚に戻るまでに一週間を要しました。日本に帰国してからの新聞紙上に小さく「ロイヤル・エアー・ラオの飛行機墜落全員死亡」の記事を見て、「間違いなくあのオンボロ飛行機だ」と確信しました。

ルアン普拉バンはラオスの古都で1995年に世界遺産に登録されています。この古都は数百年間変わらないことで世界遺産になったのです。写真②にあるように私が訪れた1968年に撮った町の中心付近の写真と、最近2020

年の景観（WEBより）とを比べると、この半世紀でほとんど変化がありません。変わったのは木々の繁茂具合だけです。

私がこの町に滞在中に知り合った青年海外協力隊の方が職場のジープを借りてきて、私を郊外の洞窟に案内してくれた時の話です。洞窟を見学して町へ帰る途上のガタガタ道をゆつくりと走行中に、前方を見ると大きな竹の籠を背



② ルアン普拉バンの景観 左(1968年)と右(2020年)は変化がほとんどない世界遺産都市

負った、まるで籠が歩いているような、10才ぐらいの女の子が道端で私達の車に向かって「乗せてちょーだい」と両手を挙げて大きな声で叫んでいるのです。幸い後ろの座席は空いていましてので停車すると、その子はまるで金の玉子でも採ったかの様に前を歩いている母子に向かって叫び出しました。「オカーチャーン、止まってくれたよー。ネエー、早く、早く!!」とでも叫んだのでしょうか。数十メートル先を母親と8才ぐらいの男の子がこれまた大きな籠を背負って立ち止まっています。3人は満面の笑顔で大急ぎで私達のジープに走り寄ってきました。籠の中にはパイヤやキュウリなどの野菜が一杯につまっています。町の市場に運ぶ途中なのでしょう。それにしてもここから町までは有に数キロはあります。この山道をこの幼い子供達は、背中に重い籠を背負い裸足で歩いているのです。

少女はいくらかの恥じらいと嬉しさをはずませ、顔を紅潮させています。私は子供達が

ら籠を受けとり、座席の間に押し込み、3人は籠のすき間にもぐり込む様にして乗り込みました。走りだしたジープは大きく揺れます、その度ごとに籠の間に座っている少女は「お母ちゃん、つぶされちゃうよ」とばかり、嬉しさの混じった悲鳴をあげます。男の子も初めて自動車に乗ったのでしょうか、ソワソワして嬉しそうにそして真剣に運転操作を眺めています。車内はこの子供達の明るいはずんだ声で一杯になりました。間もなくジープは町の市場に着き、籠を下ろし私達が走り去ろうとするその時でした。その小さな男の子がジープの正面に突然走り出て来て、両足を揃えて直立して、両手を胸の前に合わせてにこやかに合掌して「コープチャイ（ありがとう）」とペコンと頭を下げました。走り出そうとしていた私たちは一瞬たじろいで顔を見合わせました。そして「マイペンライ（どういたしまして）」と笑顔を男の子に返ししながら、えも言われぬ無上のホッコリを感じたのです。この子供の所作と笑顔はどこかで



③ インドシナに多い微笑む仏様

見た覚えがあるのとふと感じました、あーそうだと昨日お寺で見た仏様のお顔だと思いだしたのです。そうなのです。インドシナの仏様は何時も微笑んでいるのです（写真③）。それにしても何と礼儀正しい子供なのでしょう。その服装はよれよれの半ズボンと黒い木綿のつぎはぎだらけの上つぱり、そしてもちろん裸足でした。でも、きちんと直立合掌して笑顔での「コープチャイ（ありがとう）」には胸が熱くなるのです。

私は今までこのような場面でこのように素晴らしいお札を云われた記憶はありませんでした。ラオス滞在中の最高の土産になりました。

この児童の所作はどこから来るのでしょうか。世界中の異なった文化にはそれぞれにお札を表現する所作があります。胸の前で両掌を合わせて頭を下げる所作は誰が発明したのでしょうか。仏像はギリシャ文明の影響を受けてガンダーラで紀元前5世紀頃に誕生し、両手の指を様々に組み合わせて宗教的理念を象徴する印が生まれました。これらが東アジアそして日本へと伝搬し、私達日本人の仏像になりました。インドシナでみられる微笑みの仏像とは趣を異にします。しかし合掌する姿は共通です。この幼き少年も間違いない村のお寺で、住職からの説教を通して身に付けた所作だと思えます。

インドシナ諸国では新しく入植して村を創る時には、必ずパゴダ（お寺）と溜池がセットにします。よって村の名前がお寺の名前で、村人コミュニティの中心的役割（教育＋水管理＋行

政)を果たします。カンボジアがポルポトによる1970年代の大量殺戮(ジェノサイド)と1980年代の内戦で国民の四分の一の命が失われ、国が崩壊した後の1990年代に入つて、日本も含めた世界の国々がカンボジアの復興を支援しました。私は1990年代に入つてから水利復興プロジェクトで数十年ぶりにカンボジアを訪れました。その時に、カンボジア国民のあまりの変貌した姿に驚愕しました。人々の顔相が全く変貌していたのです。どこへ行つても人々の表情は氷のように冷たく笑みは全くありませんでした。彼らが受けた悲惨な人間不信の体験がそうさせていたのです。しかし復興の過程でカンボジアのいたるところで起きた復興の槌音は感動的です。それは生き残つた住民コミュニティが最初に手掛けたことはパゴダ(お寺)を再興することでした。平和到来に合わせてパゴダ建設ラッシュが国中で起こつたのです。瞬間にカンボジアではどこへ行つても金色に輝くパゴダが見られるようになりました。

た。彼らが渴望していたのはパゴダで微笑む仏様だったのです。円福友の会で初めてのエコ村支援ツアーで実施したのはパゴダへの井戸と植樹だったことを思い出しました。

この様にインドシナの国々では、ラオスもカンボジアでも日常生活の規範所作はお寺で教えられているようです。合掌して「有難とう」の所作は仏様の姿と重なるのです。

藤本住職が愛育園で毎朝夕に勤行として般若心経を園児と共に大きな声で唱える姿は私が体験したラオスの少年がペコンと頭を下げて合掌しながら「コープチャイ」と言つた姿に重なります。幼児・児童が行動規範の基本の基を身に付ける朝晩の勤行はきつと人生の宝になるはずです。今では般若心経の意味が分からず「呪文」に聞こえていても、そこに人生の珠玉の導きがあることに目覚める豊かな人生に出会うことが必ずあるはずです。幼年期に体に浸み込むお経と所作はそういうものなのかもしれませんが。頑張れ愛育園。

敬愛信

中村仁一先生

中村仁一先生は、養護老人ホーム同和園のお医者さんです。上田高校のご卒業で、そのご縁で平成二十五年第二十四回南長野仏教講座でご講演をいただきました。「大往生したけりや医療とかかわるな」（幻冬舎新書）を読んでこの方なら良いご講演を聴けると思ったのです。ご講演は期待通りでした。その後愛育園とお寺に来てもらったり、東京の松尾倶楽部のご講演を拝聴したり、お手紙やお電話のやり取りで親しくしていただ

きました。

十月十五日の消印で、直筆のお手紙が届きました。久しぶりなので、もしやと思つて封を切りました。その内容は「退職するにあたって」の通りです。「人生は思い通りにならないもの、こたわるな、とらわれるな、あるがまま受けよ」は菅谷先生のご講演に通じるものがありました。たくさんのご縁をありがとうございました。

退職するにあたって

中村 仁一

一九九九年十二月の就任以



来、二十一年本当にお世話になりました。今年が同和園設立一〇〇周年、それを契機に交替を考えていました。しかし、予想外の展開となり、後任問題では、大変なご迷惑をかけてしまいました。

繁殖を終えれば、「健診」や「検診」は受けないというのが、私の主義ですから全く後悔はありません。

ません。

昨年六月までは、何の異変も感じませんでした。それが早速で歩くと息切れするようになり、さらに坂道や階段では一層ひどくなり、同和園へ辿りつくまで、二〜三度数分の休憩を余儀なくされるようになりました。そして、体重も十二キロほど減りました。これは尋常でないと考え、八月二十日胸部X Pを撮り、右肺がんが判明しました。これまで「どうせ死ぬならがんがいい」といつてきましたから本望ではあります。また、持論の如く、発見が手遅れで、がんに対して何の手出しもしていませんので痛みはありません。ただ、呼吸困難には閉口し

ています。食べ物の通り道は勘弁と思っていました、息の通り道もまずいですね。

最後まで、できるだけ医療との縁は薄くと思っていますが、今は痛みはありませんが、今後痛みが出るかもしれません。その時は「前世で余程悪いことをした報い」と思つて諦め、麻薬を使うことに吝かではありません。

時折、「死ぬのは怖くないですか」と尋ねられます。怖くないといえは嘘になります。しかし、自然な最期を見せるという最後の役目を考えると怖がつてばかりはいられません。ただ、それほどオタついていないのも事実です。

その理由は、一つには、高二の時、切迫心筋梗塞で週三〜四日、ひどい発作に見舞われながら、一度も弱音や愚痴を口にしなかつた父の死につぶりです。二つ目は、少々仏教をかじり、人生は思い通りにならないもの（「生老病死」は「苦」）、こたわるな、とらわれるな、あるがまま受けよ（「空」の精神）などを日常生活の中に生かしてきたこと。三つ目が、「同和園」で、これまで六〇〇例以上、がん死も一〇〇例以上（うち肺がんは十四例）穏やかな自然な最期に立ち会つたことです。これこそが「同和園」にお世話になつたおかげと感謝しています。一足先に、あちらに籍を移しますが、

大黒天大祈禱会

今年はコロナ禍で初縁日のお祭りはできませんでしたが、愛育園の子どもたち三四人が全員参加して大祈祷会ができました。愛育園の子どもたちは毎朝大きな声で般若心経を唱えています。祈祷太鼓に合わせてよく揃った大きな声の般若心経は、皆さまに積善福德開運厄除の圓福大黒天さまのご利益をもたらすでしょう。

写真は大概若経の転読です。後ろに子どもたちが座っています。実は係のお坊さんが時間を



間違えて五分ほど遅れてしまつたのです。その間静かに座っていました。こんなにお行儀のよい子は、久しぶりに見たと言つていただきました。

感謝のお知らせ

○令和三年二月

(十二月十五日～一月二十七日)

● S A B A 資金

(北海道)

(青森県)

(茨城県)

(千葉県)

(東京都)

(埼玉県)

(神奈川県)

(山梨県)

(長野県)

樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣

円福友の会・SABAスクール

愛の日の丸 SABA運動

カンボジア小学校校舎建設

カンボジア エコ村支援

タイ スラム街奨学生支援(教育里親)

大災害被災地支援

シャンティ国際ボランティア会協力

おもいやりの会(愛育園児童自立支援)

太平観音堂護持発展

円福友の会入会のすすめ

上記の協力金は 郵便振替 00520—7—16256

加入者 円福友の会 あてに御送金下さい

〒388-8005 長野市篠ノ井横田 円福寺内

TEL 026-292-0381

FAX 026-293-9629

<http://ryu-enpukuji.com/tomonokai/>

enpuku2@janis.or.jp